

費用をかけず即効性に優れる目からウロコの手法!!

セミナーご案内 関連部署へご回覧願います

会場受講

業務量平準化による 人手不足解決の具体的実践方法

～業務量アンバランスを「見える化」→ 平準化 → 人員捻出 → 人手不足解決!!～

◆日時：2025年1月31日(金) 10:00～16:30 ◆受講料：(消費税等込) 1名：49,500円
 ◆会場：TH企画セミナールームA ※会場受講のみ 同一セミナー 同一企業同時複数人数申込の場合 1名：44,000円
 (東京・JR田町駅下車 徒歩約6分) ◆受講資料：製本テキスト(受講料に含)

設計業務の「ムリ・ムダ・ムラ」発見方法、会議・活動の削減方法、
 業務の「見える化」手法、業務量平準化実現システムの構築、
 業務量の平準化実施方法、逆転の発想による新ムダ取り手法について、
 自社内で実践できるノウハウを、成果をあげた具体的事例を交え、
 分かりやすく解説する特別セミナー!!

【講師の言葉】

『パレートの法則』の通り、放っておけば仕事の8割は仕事のできる2割の優秀な設計者(間接員)に集中します。その結果、優秀な設計者は慢性的に過重労働を強いられ、メンタル不全を発症したり、会社に見切りをつけて転職してしまいます。その結果、御社はその未来を担う優秀なエース設計者を喪失することとなります。以上は、設計者間の業務量アンバランスに起因する悲劇ですが、他にも月間・部署間の業務量アンバランスが存在し、設計者には過重労働、会社には残業・休日出勤による超過勤務手当発生、という形で経営にダメージを与えています。

そこで当セミナーでは、業務量の平準化によって労働生産性を向上し、捻出した余剰人員により人手不足を解決する方法についてお教えします。具体的には、a.業務の実態の数値データ(投入工数)による「見える化」、b.業務量アンバランス(設計者間・月間・部署間)の平準化、c.平準化を実現するシステムの構築、の3つです。

講義では、業務量の平準化だけで労働生産性を4.9%も向上させ人手不足を解決した某社設計部門の事例紹介および演習を交えつつ、御社でも実施できるよう分かりやすく説明します。費用が掛からず効果は絶大かつ即効性に優れる当手法は人手不足問題解決の決め手です。その真偽のほどは、当日あなた自身の目でご確認ください。

(注)演習時にExcelの入ったノートPCがあると便利です(ない場合はシートで対応)。

【受講形式】 会場受講のみ
 【受講対象】 人手不足に悩む設計部門の部課長・主任クラス
 設計統括部門および業務改革推進部門の部課長・主任クラス
 【予備知識】 特に必要ありません。
 【習得知識】 人手不足解決方法の具体的ステップ
 1) 設計業務の「ムリ・ムダ・ムラ」発見方法
 2) 会議・活動の削減方法
 3) 業務の実態の「見える化」手法
 4) 業務量平準化実現システムの構築方法
 5) 業務量の平準化実施方法
 6) 設計業務の本来あるべき姿の「見える化」手法
 7) 逆転の発想によるムダ取り手法

●申込書・2025年1月31日(金)「業務量平準化による人手不足解決の具体的実践方法」

会社名	〒	住所
TEL		FAX
正式所属		正式所属
受講者名		受講者名
E-mail		E-mail
振り込み 予定		通信欄

◆プログラム◆

【講師】 株式会社トータルマネジメントシステム研究所
 代表取締役 角川 真也 先生

- 業務量のアンバランスを放置し続ける恐ろしさ
 - 3つの業務量アンバランス
 - 業務量のアンバランス放置が招いた悲劇 (事例紹介)
 - この悲劇から学ぶべきこと
 - 業務量平準化はなぜ必要か?
- 業務量平準化の前にすべきこと
 - 設計者のお困りごと・不平不満・会社への提言の「見える化」
 - 既得権者(業務量の薄い人)の抵抗勢力化未然防止策
 - 使える業務マニュアル
 - マニュアル管理システム
- 業務量のアンバランスを「見える化」する
 - 投入工数による部署業務の実態の「見える化」 (演習あり)
 - 設計者間
 - 月間
 - 部署間
- 業務量のアンバランスを平準化する
 - 設計者間(演習あり)
 - 月間(演習あり)
 - 部署間
 - 業務量平準化の効果(人手不足解決事例紹介)
- 質疑・応答
 まとめ
 質疑・応答

【受講者の声】 ・大変なご苦労・実体験に基づく数々のご知見のご講演ありがとうございました。ホンダJETの話が興味深く、引き出しの断捨離の話も例え話としてわかりやすかったです。

・講師の方の経験が豊富であった為、飽きることなく聞くことが出来ました。仕事の見える化は非常に魅力がありますが、私の部署は手配設計をしており、工数が限られる中で日々手配が入ってくる為、年間のスケジュールや月ごとのスケジュールはたてづらく、AIOS標準バージョンを作成する事は難しいと感じました。生産性の高位標準化ツールとしてご紹介のあったAIOSスキル・マニュアルバージョンの方は使えそうなので、さっそく作成してみます。

・リアルな事例が聞けたので、わかりやすかった。数の少ない業務であれば特に有用だと感じた。

・業務量平準化の考え方とその実施方法が分かった。

・講師の方の話し方も分かりやすく、声も聞き取りやすかった。

◆セミナーお申込要領

- 申し込み方法
 - ・弊社ホームページの申込欄又は、FAXかE-mailにてお申し込みください。
 - ・折り返し、受講票、請求書、会場案内図をお送り致します。
 - ・開催日の8日前以内のキャンセルは、お受け致しかねますので、必要に応じ代理の方のご出席をお願いします。
 - ・開催日の8日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。
- お支払い方法
 - ・受講料は原則として開催前日までにお支払い願います。
 - ・経理上、受講料のお支払いがセミナー開催後になる場合は、お支払日をお知らせ願います。
 - ・振り込み手数料は御社の御負担にてお願いします。

●申込先 

〒108-0014 東京都港区芝4-5-1 11-5F
 TEL: 03-6435-1138
 FAX: 03-6435-3685
 E-mail: th@thplan.com

検索 TH企画 → サイト内検索 0131 (開催日)

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。

<https://www.thplan.com/>